



新しい朝

府中市立府中第十中学校

学校だより No.6

平成30年9月3日

夢をもち続ける力

校長 竹内 康裕

「あなたは『自分の夢がわからない』と言うが、そのための努力や覚悟から逃げているだけではないか？」これはかつて中学生だった私が、ある日恩師から頂いたとても厳しい一言です。「ほんの少しだけ頑張ったら叶うような都合の良い道だけを探していないか？」将来の展望がもてずに悩んでいるたくさんの人は違うと思いますが、お恥ずかしいことに当時の私の考えは未熟で、見事に言い当てられてしまいました。頭からバケツで冷や水をかけられたような衝撃を受け、返す言葉は見つかりませんでした。楽をしたい。それでいて都合よく暮らしたい。当時、そんな私の情けない考えを恩師は鋭く見抜きました。

幼稚園児や保育園児に将来の夢を尋ねると、自分達の見聞きした範囲のなかで憧れを無邪気に答えます。やがて世間に対する視野が広がり、様々な情報に接していくうちに、理想の実現には並大抵の努力では叶わないことを感じはじめます。夢を考えることは容易ですが、夢をもち続けること、その夢の実現に向けて努力を続けるためには強い決意や覚悟が必要であることを知ります。自分の将来を考える力・夢をもち続ける力は、その夢を叶えようとする心の強さのことでもあると思います。

入社・入試の面接の質問事項には、「あなたの将来の夢は何ですか。」「本社・本校を志望した理由は何ですか。」といった類のものがあります。これらは面接の冒頭に行われることが多く、ほぼ全ての面接で質問されます。受験者は予めそのような質問を想定し、応答の準備をしていることが多く、それ故ウォーミングアップのように軽く捉えてしまう人もいます。一方、採用側にとってはとても大切な質問です。自分の人生の展望をどのように考え、それに向かって今、具体的にどのような努力を続けているのか？本社・本校でどのような頑張りが期待できるのか、その人の芯の強さや、生き方・考え方はどのようなものなのか等を知るための重要な質問です。ほぼ全てで尋ねられる理由はそこにあります。

様々な分野で第一人者といわれる方々や社会で活躍している方々の生き方や考え方は、共通しているように思います。特に強く感じるのは、総じて、①大きな夢や強い願いをもっている。常に夢の実現を強く願い続け、その途中で ②生じた困難についても、前向きに受け入れ正面から一生懸命に対応しようとする。また、そういう ③やりがいのある人生を積極的に楽しもうとしている。講演・著書からも人柄がわかり、生き方・考え方に憧れます。

私たちはたくさんのことを考え日々成長しています。それに伴い、思い描いている将来の夢やそこに向けた具体的な努力の方向も当然少しずつ変わります。大切なのは、変わらない夢をもつことではなく、たとえ頭の片隅にでも「こうありたい自分」の姿をしっかりと描くこと、そのための具体的な努力をしっかりとやろうとすること、多少の困難ではあきらめず何とか解決して進めようとする心の強さであると思います。アジア大会女子マラソンで銀メダルに輝いた野上恵子選手は、レース前のインタビューで「私の良いところはあきらめの悪いところです」と言っていました。冗談のような明るい応答でしたが、レースでの粘りはその言葉を裏付けるものでした。夢をもつ力、もち続ける力とは、人生を一生懸命に生きようとする力、そしてそのために頑張ろうとする力のことでもあると思います。

今学期もよろしくお願い致します。

■□ 夏休みの活動 ■□

今年の夏は、第100回高校野球では103年ぶりに秋田県勢が決勝に進み、アジア大会では各競技の日本代表選手が活躍するなど猛暑に負けない暑いドラマが繰り広げられました。十中生も様々な活動を行い、夏休み期間だからこそできる様々な体験、経験を通して大きく成長しました。

【五小サマースクール】

7月23日（月）～25日（水）の3日間、府中第五小学校で学習支援ボランティアを行いました。小学生の夏休みの宿題をサポートしたり、プリントの丸付けをしたりしました。間違っているところや分からないところをやさしく教えてあげている姿はとても誇らしく感じました。



【補習教室】

基本問題を中心に1学期の復習や夏休みの宿題に取り組みました。「なぜ」「どうして」という疑問に少人数でしっかり学ぶことができ、お互いに教えあう姿も見られました。



【水泳教室】



7月23日（月）～26日（木）の4日間、水泳教室が開かれ、延べ60名の生徒が参加をしました。

ビート板を使って泳ぎの基本練習や、クロール・平泳ぎ・背泳ぎ・バタフライをそれぞれの泳力に合わせて練習をしました。

【部活動】

今年はあまりの暑さに熱中症が心配されましたが、対策として、こまめな水分補給と休憩をとり、活動場所では熱中症指数が運動禁止の基準値を超えていないかを計測しました。厳しい環境の中でも、1、2年生新チームとしてスタートした部活、大会やコンクールに向けて練習に励む部活と一生懸命に頑張る姿がたくさん見られました。



《大会、コンクールなどの結果》

○男子バスケットボール部

府中市夏季大会 男子の部4位 予選男子Bリーグ1位通過
夏休みに様々な地区（府中、武蔵野、三鷹、調布など）の学校と練習試合を行いました。新チーム初の公式戦ですばらしい結果を残すことができました。選手一人一人が自分にできることを常に考え、チームで戦うことができました。



○女子バスケットボール部

東京都中学校バスケットボール選手権大会 1回戦 ● 53 - 74 実践学園
府中市夏季大会 女子の部3位 予選女子Aリーグ1位通過

○テニス部

第9ブロック中学校テニス選手権新人大会 女子ダブルスベスト16
青山 栞菜・長谷川 沙羅 ペア

○剣道部

第9ブロック中学校夏季剣道研修大会

◇個人戦

橋浦桜音 1回戦勝利、2回戦敗退 / 橋本渚央 1回戦敗退
片岡美尋 1回戦敗退 / 金子緋理 1回戦敗退

◇団体戦

女子 1回戦 vs 都立三鷹中等 敗退

1本を取るのがなかなか難しいです。でも、最後まであきらめずに頑張っていました。



○吹奏楽部

北多摩吹奏楽祭

東京都中学校吹奏楽コンクール 銅賞



○サッカー部

府中市少年サッカー大会 1回戦敗退、敗者戦勝利

新チームになって初試合でしたが、自分たちの力を出すことができていました。

■□ 地域パトロール ■□

7月20日（金）、PTA、府中市青少年対策第十地区委員会、府中消防署消防団第14分団のご協力をいただいて地域パトロールをしました。通学路に危険物や危険個所がなかなど安全確認をすることができました。



■□ プール開放 ■□

市のモデル事業として8月1日～26日の期間、十中のプールが市民開放されました。24日間で延べ約800名の利用者がありました。

浮き輪を持った小学生、小さな子供や孫を連れた家族など、幅広い方々に利用していただき、歓声や笑顔が溢れるとても微笑ましい光景でした。



『ふくのわプロジェクト』にご協力ください

東京オリンピック・パラリンピック2020協カプロジェクトの一環として「ふくのわプロジェクト」に参加をします。『ふくのわプロジェクト』とは、皆様に寄付していただいた衣類を、リユース専門業者に買い取ってもらい、その収益金でパラスポーツ団体やパラアスリートを応援しよう！という活動です。衣類のリユース率の向上とパラスポーツの発展に寄与することを目指しています。ぜひ、ご家庭に眠っている服がありましたらご寄贈ください。

《回収日》 10月1日（月）、6日（土）、13日（土）、15日（月）

《回収場所》 府中第十中学校1階玄関

《回収衣類》 まだ着られる衣類

*シミ、破れなどダメージのある衣類は除きます

《回収方法》 ビニール袋に入れて、直接お持ちください



『地域防災講習会（水防）』にご参加ください

地域の防災意識を高め、地域と学校の連携を強化することを目的として、水害防災の訓練を行います。参加を希望される方は当日プールサイドにお集まりください。見学だけでも構いませんので、ぜひご参加ください。

《日時》 平成30年9月26日(水) 14:00開始 15:00終了（予定） 荒天中止

《場所》 本校プール及びプールサイド

《講習内容》

- ・水難救助法（講習）
- ・着衣水泳（体験・希望者のみ）
- ・ボートによる避難体験〈調整中〉

《対象》

- ・本校の近隣の地域の方々
- ・本校生徒20名程度（希望者）



異動のお知らせ 9月1日付

学校支援委員、サッカー外部指導員の高橋 覧さんは、町田市立成瀬台中学校の教諭として、着任いたしました。